

「白河駅前シンボルロード」開通 パレードで完成祝う

白河市の都市計画道路「白河駅白坂線」と「一番町大工町線」の兩大工町工区の開通を祝う白河駅前シンボルロード・オープニングセレモニーは23日、同市大工町の現地で行われた。両路線の愛称も発表され、一般公募でそれぞれ「小峰通り」「門前通り」と命名されるなど、沿線の市民は城下町白河のシンボル・小峰城の景観が広がる通りの完成を祝った。

開通式では鈴木和夫市長が「歴史と文化のまちにふさわしい景観が出来上がった。今後も市民に末永く愛される通りとなることを期待したい」と式辞。浅野俊和県南建設事務所長らが来賓祝辞を述べた後、鈴木市長ら関係者がテープカットし、待望の完成を祝った。

この後、出席者はご当地ヒーロー「ダルライザー」やご当地キャラの「しらかわん」、白河新撰組同好会のキャラクター「おきたん」らとともに、大工町交差点前から谷津田川せせらぎ通り前までの開通区間をパレードした。セレモニーには富岡町から同市に避難し、観光人力車を引いている新風亭代表の遠藤良一さんらも加わったほか、特設テントでは甘酒や豚汁が振る舞われた。

(2014年3月24日 福島民友おでかけニュース)



横断幕を手に大工町工区をパレードする鈴木市長ら出席者